

# 応急復旧活動

29

## ■ 復旧方針と活動内容

○支援事業体である大阪市水道局、神戸市水道局とともに**応急復旧方針を決定**した。

○管路の通水作業などの活動にあたっては、大阪市水道局、神戸市水道局に人的支援をいただいた。

### <復旧方針>

●津波による被災エリアの復旧は当面、居住が見込めないことから、水源水質が回復した後、**避難所や仮設住宅建設予定場所など居住しているルート**を優先的に復旧する。

●早期通水に向けて**漏水調査等の作業を計画的に展開**する。

30

## ■ 水源の復旧について

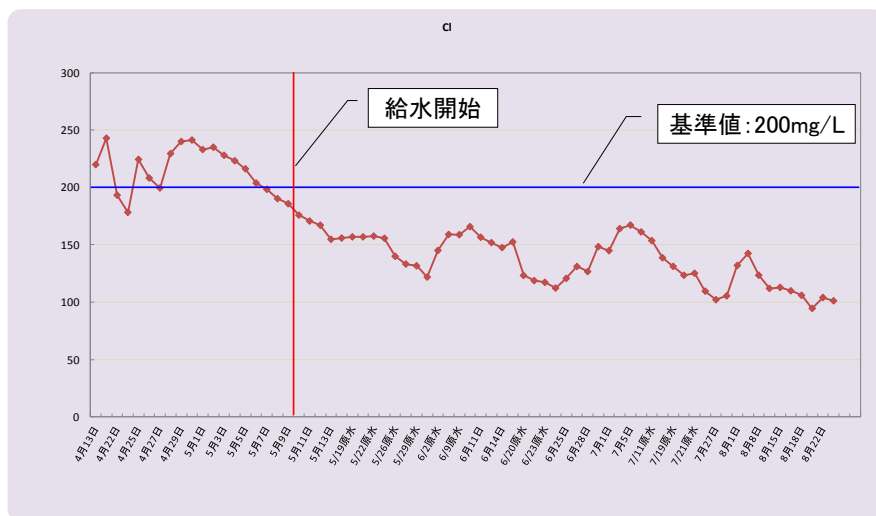
竹駒第1水源（陸前高田市の大半地域を給水エリアとしている水源）は、津波により塩化物イオン濃度等が水質基準値を上回っており、通電も7月以降となることから、**仮設電源（発電機）を活用し、水替えを継続的に実施**。

水中ポンプによる水替状況



31

## ■ 竹駒第1水源の水質状況(塩化物イオン)

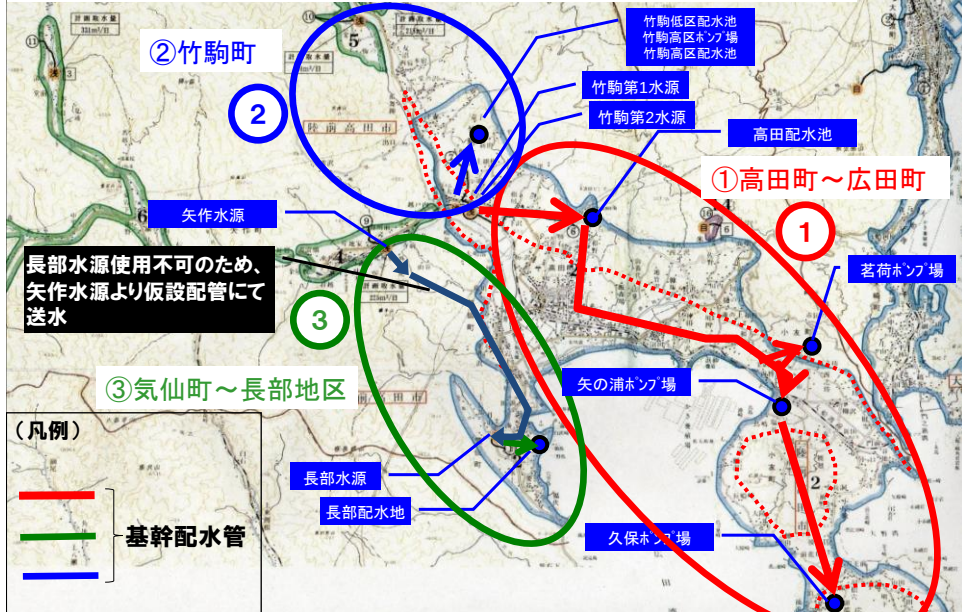


※ 4月1日には677.3mg/Lあったが、水替え作業により低下していった。

32

## ■ 漏水調査・修繕、通水作業について

・水源回復後、漏水調査・修繕等を行いながら通水エリアを拡げていった。



## ■ 仮設配水管の布設

市街地から放射線状に配水管が布設されており、津波により市街地が壊滅したことから、切り離された管路を接続する必要があり、仮設配水管を約6km布設した。



# ■ 管路等通水作業の流れ



35

# ■ 復旧状況(通水再開)



36

## ■ 復興に向けて

### ①水源被害のリスク分散を図る

被災した全ての水源は浅井戸であり、地表面からの影響を受けやすい。特に、竹駒第1水源地は多量の降雨後に水質が安定しない傾向にある。被災しなかった地域に、新たな井戸水源を確保することが理想的である。

### ②水源地の浸水対策（津波対策）

水源応急復旧に長期間を要した原因は、井戸内部及び機械・電気設備室への海水と漂流物の浸入であった。井戸に付属する機械・電気設備は、経験津波水位より高い位置に設置する必要がある。

### ③中央監視設備の整備

中央監視設備を設置して、遠隔監視により効率的に運転管理を行う。（平成24年2月完成）

37

私たちにできること

38



## 派遣職員としてやるべきこと

- お手伝いではない。  
今何が必要なのか考えて積極的に行動しよう。
- 事業体の規模でルールは変わる。  
協調性を持って技術提案しよう。
- 被災地の職員だって被災している。  
彼らの手足となってあげよう。

39

## 「互いを思いやる心」

それが復旧、復興の力になると思います。



40

今回の震災でお亡くなりになった  
多くの方々のご冥福と被災地の復興を心よりお祈り申し上げます。  
ご清聴ありがとうございました。

プレハブ仮庁舎での仕事風景



大阪市水道局の皆さんと

